



©2005 石塚真一/小学館

第 334 号 (令和6年(2024 年)3月 22 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

～山岳遭難の現場から Mountain Rescue File No.3～

今回は、2月中旬の三連休初日に天狗岳周辺で相次いで発生した山岳遭難を事例に取り上げ、冬山での行動計画の基本やビバーク装備の重要性について考えたいと思います。

https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/mountain_rescuefile.html 長野県警察 山岳情報

<https://www.yamakei-online.com/yama-ya/detail.php?id=3041> 山と溪谷オンライン 編集・転載

<https://yamahack.com/6087> YAMA HACK 編集・転載

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

3月3週は、7件の山岳遭難が発生しました。バックカントリーの滑走中の遭難やスキー場管理区域外へ迷い込み行動不能となる遭難が3件発生しています。

スキー場を滑走する場合は、各スキー場のルールを守り管理区域外に迷い込まない、故意に立ち入らないようにしてください。スキー場管理区域外での救助要請は全て山岳遭難となり、民間の救助隊員が出動した場合は救助費用が発生します。スキー場の管理区域外やバックカントリーエリアは、厳しい自然環境となるため様々なリスクやアクシデントに対応できる装備の携行が必要です。特に、『ハイクアップ道具や雪崩対策装備、ビバーク装備や食料関係、携帯電話のモバイルバッテリー』などを携行し、何かあった場合に使える装備品を携行しましょう。整備されたスキー場と同じような感覚での滑走は大変危険です。自然を相手にするスポーツですので、準備と計画は事前にしっかりと行いましょう。

中央アルプスでは、単独で入山後、行方不明となる山岳遭難が2件発生しています。単独登山は、他人を気にせず自分のペースで登れ、行きたい山に登れるなどの魅力がありますが、トラブルやアクシデントがあった場合、一人で判断することとなり仲間の助けを借りることができません。過去の行方不明事例も、家族や職場の同僚から「〇〇山に登山に行ったまま帰ってこない。」といった通報がほとんどです。登山中にアクシデントやトラブルがあった場合、通報できる状態であれば助けを求めることができますが、「携帯電話の故障や紛失。」「通話エリア圏外。」「怪我をして動けない。」等の理由で通報ができない場合があります。単独登山は、ハイリスクな登山となることを理解し、御自身のレベルに見合った計画や山域に見合った装備の携行をお願いします。

発生状況:

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
3月13日	北アルプス 白馬乗鞍岳	男	27	無事救出	その他	単独でバックカントリーを滑走中、技量不足により、行動不能

						
3月13日	北アルプス 八方尾根	男	31	無時救出	道迷い	スキー場を滑走中、 管理区域外 へ迷い込み、行動不能
						
3月13日	中央アルプス 木曾駒ヶ岳	男	59	行方不明	不明	単独 で木曾駒ヶ岳周辺に入山し、行方不明
3月14日	北アルプス 小日向山	男	26	負傷	雪崩	2人パーティで バックカントリー を滑走中、雪崩に巻き込まれ、負傷
						
3月16日	北アルプス 西穂高岳	男	15	負傷	滑落	2人パーティで西穂高岳に入山し、下山中に雪で足を滑らせ、滑落、負傷
3月16日	北アルプス 西穂高岳	男	56	無時救出	その他	単独 で西穂高岳に入山し、登山中バランスを崩して、滑落後、技量不足により行動不能

3月16日 西穂高岳遭難

1件目:男性(15歳)

2件目:男性(56歳)



3月17日	中央アルプス 木曾駒ヶ岳	男	20	行方不明	対応中	単独 で木曾駒ヶ岳に入山し、行方不明
-------	-----------------	---	----	------	-----	---------------------------

令和6年(2024年)中の山岳遭難発生状況(令和6年(2024年)1月1日~3月17日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和6年(2024年)	47	7	3	12	33	55	22
内)バックカントリー	22	2		4	22	28	6
内)単独登山	15	2	2	2	9	15	6
令和5年(2023年)	44	6	2	21	23	52	29
前年同期比	+3	+1	+1	-9	+10	+3	-7
内)バックカントリー	+8	-1	-2	-1	+13	+9	-4
内)単独登山	-3	±0	+2	-4	-1	-3	-2

■山域別発生状況(令和6年(2024年)1月1日~3月17日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	2	4.3%	0	0	1	2
	後立山	15	31.9%	2	0	4	20
	その他	2	4.3%	1	0	1	3
	計	19	40.4%	3	0	6	25
中央アルプス	5	10.6%	0	2	2	6	
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	
八ヶ岳連峰	13	27.7%	3	0	4	13	
その他の山岳	10	21.3%	1	1	0	11	
計	47		7	3	12	33	55

■態様別発生状況(令和6年(2024年)1月1日～3月17日)

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	8	17.0%	1	1	6	0	8
転倒	3	6.4%	0	0	3	0	3
病気	1	2.1%	0	0	0	1	1
道迷い	15	31.9%	0	0	0	19	19
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	5	10.6%	2	0	2	3	7
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	6	12.8%	3	0	0	3	6
不明・他	9	19.1%	1	2	1	7	11
計	47		7	3	12	33	55

■男女別・年齢別比率(令和6年(2024年)1月1日～3月17日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	1	1	2	18 40.0%	0	0	0	1	1	3 30.0%	3	21 38.2%
20代	0	1	2	4	7		0	0	0	2	2		9	
30代	1	0	1	7	9		0	0	0	0	0		9	
40代	3	0	2	4	9	24 53.3%	0	0	0	2	2	7 70.0%	11	31 56.4%
50代	2	2	3	8	15		0	0	3	2	5		20	
60代	1	0	0	2	3	3 6.7%	0	0	0	0	0	0 0.0%	3	3 5.5%
70以上	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	
計	7	3	9	26	45		0	0	3	7	10		55	
比率	81.8%						18.2%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝